



北九州プロバスクラブ月報

会員数 32人

つながり

No. 181
令和3年7月号
2021. 7. 20

北九州プロバスクラブ

ホーム Home | お知らせ Information | プロバスクラブとは Probuss Club | 活動報告 Introduction | お問い合わせ Contact



ホームページが

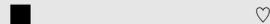
できました



みんなで活用を

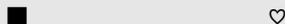
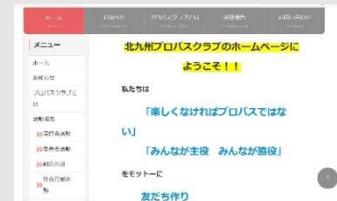
北九州プロバスクラブのホームページができました。今後はこのホームページを活用して会員同士の情報交換や新会員獲得に結び付けられたいと思っています。

以下は近藤活性化委員長とホームページの趣旨などをやり取りした一部です。こんなホームページにしたいという内容で、私も同感です。



シニア 生きがいの文言にヒットするような 外部から何だか楽しそうだ それですよ！
既存の同好会のあれこれは当然の事 新しい同好会を作りたいが
どなたか教えて等。 例えば 人生相談 占い クイズ 史跡巡り
美術館情報 一口法律 健康あれこれ etc 無責任に色々出ましたが 皆さんで楽しいコーナーを創り
ましょう。

公序良俗に反しない程度で 思いのまま仲間集めで 結果的に
会員増強につながれば、策を模索してます。 即ち 官製では無い何か。
折角 やるんですから我々が楽しまねば でしょう？
ともに チャレンジしましょう。 ! ! ! !



「いつ、どこで、なにをします」という各同好会のお知らせや個人的なイベントへのお誘いなどもどうぞ。月報の「ふれあい掲示板」の電子版と思って下さい。但し、予算の関係で基本となる土台は専門家に依頼しましたが、今後の更新作業はプロバスクラブでやらなければなりません。私も少し作業の様子を覗きましたが「これなら自分たちでやれる」という簡単なものでした。私たちのこと（シニア世代）を考えて、簡単にできるような設定にしていますとのことでした。業者を呼んで更新作業の学習会も計画しています。興味のある方の参加を待っています。

ホームページは「北九州プロバスクラブ」で検索すれば、上位に出てきます。
わからない人は下記のアドレスを打ち込んで下さい
パスワードは一応決めています、スタート時点では使うところはありません。
いずれ個人情報でも掲載する必要があるれば、使用します。

ホームページ アドレス : <http://kitakyushu-probusclub.com>



会長挨拶

6月のコロナ禍の中で

古賀靖子

あじさいが雨に美しく濡れている季節も終わり、梅雨の晴れ間にのぞく青空に夏らしさを感じています。

福岡県下では6月20日に「緊急事態宣言」が解除されましたが、引き続き「まん延防止等重点措置」が7月11日まで実施されています。私共のクラブも6月15日の役員会に於いて、1月、2月及び5月と同様のクラブ全ての行事の中止を決定しました。大都市での大規模接種会場も開設されたことで接種が進み、6月からは64歳以下の方にも接種を進めています。世界の接種実績割合から見ますと日本は世界8位、福岡県の接種率では21.9%（6月28日現在）といった状況です。

まだまだ不安の軽減にまでは至っていない状況の中で、7月23日からのオリンピック開催、更にはデルタ株（インドで確認されて世界各地に広がり、感染力が強いとされる）が国内でも東京などで確認され、感染再拡大を招きかねないと懸念されています。

【人類を脅かす感染症のパンデミック】

人類は太古の昔から感染症のパンデミックに悩まされてきました。その規模が劇的に増加したのは農耕社会へ移行し、貿易が拡大したからです。人類が文明化し都市化が進み、より貿易が加速すると、異なる集団や動物と接触するようになり、パンデミックとなりますが、近代は医療の改善とパンデミックに対する理解が大きく左右しているといわれています。

【では、新型コロナウイルスのパンデミックは、いつ、どのようにして終わるのでしょうか】

歴史学者によると、パンデミックの終わり方には2通りあるといえます。1つは医学的な終息で、罹患率と死亡率が大きく減少して終わる。もう1つは社会的な終息で、病気に対する恐怖心が薄れてきて終わる。

ジョンズ・ホプキンス大学の医学史学者、ジェレミー・グリーンは、つまり、病気を抑え込むことによって終わりが訪れるのではなく、人々がパニック状態に疲れて、病気とともに生きるようになることによっても、パンデミックは終わるということだ。ハーバード大学の歴史学者、アラン・ブラントは、新型コロナウイルスでも同様のことが起こっているという。「経済再開の議論を見る中で、いわゆる『終わり』は医学的なデータによって決まるのではなく、社会政治的なプロセスによって決まるのではないかと、多くの人が思っている」

最後になりましたが、対面で語ることでできる元の生活に戻れることを願い、気を緩めることなく防御を続けていただき、これから本格的な夏となりますので、熱中症等、健康には十分に気を付けましょう。

6月役員会報告

6月15日（火）役員全員出席のもと定時に開始する。次の項目を議題とした。

- ・令和2年度事業報告並びに令和3年度事業計画案について
- ・令和2年度収支見込み決算並びに令和3年度収支予算案について
- ・会則改正案について
- ・役員改選案について
- ・会計監査日程について（7月13日14時 湖月堂にて 関係者9名出席予定）
- ・全日本プロバス協議会事務局会議報告
- ・委員会報告（月報の発行、川柳題目等々）
- ・その他（会員の動向、北九州SDGsクラブの参加登録等）

今回の会議は定時総会に向けての審議が主体で、積極的かつ建設的な発言を交えた活力ある役員会であった。（中山）

米谷元則さんを偲ぶ

平成 28 年(2016 年)4 月、小倉高校同期の小林繁人会員の紹介で入会されました。丁度入会されて丸 5 年が経過した今年(2021 年)4 月 10 日にご逝去、享年 79 歳でした。振り返って入会申込書をめくってみますと自己紹介(PR、趣味等)の欄に日本酒を嗜むこと、旅行と記されていました。我がクラブでは企画委員会、活性化委員会での活躍、例会講師のご紹介など多方面での御協力を頂戴しました。同好会では、まさに打って付けの「日本酒の会」で仲間との語らいを楽しまれたと聞き及んでいます。

このコロナ禍でのご逝去でしたため、会員の皆様方の参列が叶わず、クラブからお悔やみの供花、弔電を差し上げました。直後、奥様からのお礼の電話を頂戴いたしました。さらに 6 月例会に参加させて頂き、会員の皆様に直接お礼を申したいとの申し出があったのですが、例会休会のため、奥様から御礼状と心のこもった御芳志を頂戴いたしました。ここで、会員の皆様に奥様からのご礼状をご報告申します。

「この度は亡き米谷元則の葬儀に際しましてご丁重な物を頂戴いたしまして誠に有難うございました。主人は一応の仕事を終え、故郷に帰って来ましてから約 15 年、最後の人生をプロバスの会に参加させていただきまして、楽しい日々を過ごす事が出来たと感謝しております。

本体ならば直接お伺いして皆様に御礼を申し上げなければなりません、コロナの時なかなか直接お会いする機会も有りませんので、書面にて失礼させていただきました。

長い事本当に有難うございました。先ずはお礼まで。

米谷マユミ
(文責 古賀靖子)

写真は日本酒の会にて元気なころの米谷さん、2017 年 8 月撮影



同好会活動報告

歴史文学講座

都市国家シリーズ終わる

6 月 22 日、柳澤伸一先生による都市国家シリーズが終結した。全 11 回に及ぶ講義は相次ぐ緊急事態での休止のため、1 年半を要した。遡って見ると採り上げられた都市はアテネに始まり、古代ローマ、ヴェネツィアなど全 6 か所。夫々の盛衰(盛がメイン)が主たるテーマであった。

一般に歴史には、時代を代表する統治者や思想家が登場するのだが、先生の講義には一人として著名人の名は上がらなかった。其処には階層としてのリーダー層(含議会など)や繁栄を支える産業人(交易、同業組合など)のグループがあるのみであった。それと詳しい町の姿が。

西洋の歴史の学び方に、このような切り口があったのかと、筆者には驚きの続く 1 年半であった。

(竹原)



日本酒の会

前会長米谷さんを偲び献杯

会発足から 20 回目が 6 月 29 日(火)にいつもの NAO で開かれました。

会長だった米谷さんがお亡くなりになり、初めての会で、参加者 8 名で、青森の純米大吟醸「善知鳥(うとう)」で、献杯をして故人を偲びました。素敵でやさしいおだやかなひとでした。

コロナの関係で午後 5 時スタート、午後 7 時オーダーストップという限られた時間でしたが、最初に岡山の 3 種類「真庭」「高島」「瀬戸」を飲み比べ、一人ひとりの感想が違って楽しい会話になりました。辛口の石川の夏酒「手取川」や、甘口の福島「写楽」を飲み、会を終えました。

加するたびに強くなっているみたい? を実感した夜でした(新城)

食美会

今回はワインつきでフランス料理を

7月6日に開催、やはり楽しい食美会です。7名で病欠がありました。会場は小倉北区魚町の台湾料理の「麗白(れいはく)」、シェフおすすめメニューに満足しました。今回はフランス料理を考えています。その時にはもちろんワインも一緒に(吉田秀)

委員会報告

企画委員会 7月6日 6名参加

現体制最後の委員会だったが故障者や退会者が相次ぎ、わずか6名での会議となった。議事は新体制スタートまでのつなぎとして卓話計画その他の策定が主題となり、9、10月のプラン(含構想)を決定した。

尚、ペンディング事項としては、卓話に関する会員へのアンケート案や、ショートスピーチについての考え方などがあるが、新規メンバーによる検討を待つことになった(竹原)

広報委員会 6月22日 8名参加

6月例会が中止になったため、月報をどうするかを話し合い、掲載可能候補を出し合った。今回は中山さんが記事が少ないなら趣味について書こうと申し出があり、発行の目途がついた。Linkについても準備を進める時期に来ており、早めに新体制で取り組む方針だけを決めた(安高)

脇孝之会員ご逝去のお知らせ

7月10日、すい臓がんのため逝去。享年86歳。通夜は12日午後6時から、告別式は13日午前11時からいずれも小倉南区のシテイホール小倉南ベルコで執り行われました。喪主は妻公恵(キミエ)様。

脇さんは7月22日生まれで、奥様の話だと「年明けには余命数か月と宣告されていたが、7月には「誕生会があるから」とプロバスの例会を楽しみにしていたという。ご冥福をお祈りします。

趣味と私の回想(陶芸編)

中山正英

陶芸を止めて既に30年近くなる。ふとした時に電動ろくろの回転盤中心に土の塊(粘土)を置きその粘土を両手で上げ下げする「土のころし」の作業をやってみたくてという思いにかられる時がある。粘土の感触や粘土が思うようにスルスと上下する時の快感が何とも言えない。その後の成型作業はなかなか思うようにいかず四苦八苦したことばかりで記憶が薄い。

それともう一つ、窯の扉を開けるまでのドキドキ感、ワクワク感。どんな作品になっているのかの不安感と期待感である。たいていガッカリすることが多いが、たまに思いがけないイメージ以上の作品になることも時としてあった。

*土のころし：粘土をろくろ回転に一体化させることによって安定したろくろが挽けようにする作業



恥を忍んで作品の一部をその大きさを示すためマッチ箱と並べてみた。上の2枚の皿は信楽焼、白っぽいとっくりと環壺は萩焼、他は備前焼

シルバー10柳第20回入選作品

(全国有料老人ホーム協会提供)

- | | |
|-------------------|------------------|
| ○何をしにここに来たかと考える | ○脳トレを毎日してます探し物 |
| ○妻が言うひとまず預かる給付金 | ○テレワークやってみたくて俺無職 |
| ○ゴミ出しの俺とカラスは顔馴染み | ○我家では濃厚接触ととなし |
| ○円満の秘訣ソーシャルディスタンス | ○武勇伝俺の話は無観客 |
| ○入らない母の入歯で騒ぐ父 | ○妻の留守たっぷり醤油寿司刺身 |
- 心当たりがありますか？